

A

2

●SDGsと問屋町の3つの価値創出事業

協同組合青森総合卸センター

住 所	〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目17番3号		
U R L	https://www.tonyamachi.com/		
設 立	昭和42年10月	主 な 業 種	卸売業
組 合 員 数	137人	出 資 金	136,900千円

■背景・目的

当組合では創立50周年を機に、未来ビジョンである「ビジネスパーク」と3つの価値「経済的価値創出事業」「社会的価値創出事業」「文化的価値創出事業」を事業戦略（事業セグメント化）として設定し、組合事業を推進している。3つの価値に基づく各事業を、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGs17の目標に関連する事業に位置付け、3つの価値とSDGsによる新たな価値を融合した組合活動推進のためSDGs推進管理委員会（以下委員会）を設置し、令和3年度を「SDGs元年」として各種事業を展開している。

■取組みの手法と内容

外部有識者やSDGs実践組合員等によって構成される委員会を組合内に設置し、新たな活動を推進する体制を整備している。またSDGs事業推進の方針として3つの段階を設定し、段階的な事業展開を計画している。さらに問屋町SDGs宣言制度を創設し、各組合員のSDGsに対する取り組みを促進する仕組みを構築するとともに、事務局が各組合員におけるSDGs導入に際したコンサルティングをすることで円滑な導入に向けたサポートを実施している。

その他、SDGsバッジの販売やSDGsのPR看板・WEBサイトの構築、SDGs取り組み紹介のパンフレット配布などを通して意識啓発や理解・認知の促進を図っている。

委員会ではアンケート調査を実施し、SDGsに対する各組合員の理解度や認識の現状を把握するとともに、3つの価値に基づく各事業をSDGs17のゴールに再整理し、一覧表にまとめることで事業の位置づけの明確化・見える化も図っている。また、SDGsに関する調査と検討した内容を報告書として取り纏め、報告会を通じて組合内での理解度の向上を目指している。

今後は、SDGs事業方針に基づく第二段階：SDGsと自社事業や既存の取り組みとの関連を理解してもらう、第三段階：自社の事業や資産（ヒト、モノ、カネ等）を活用してSDGs17のゴールに貢献する、といったフェーズに移行するため全組合員で問屋町SDGs宣言化に取り組むとともに、既に宣言している組合員に対する個別フォローやレベルアップが図られるよう組合としてサポートしていく予定である。

■成果とその要因

3つの価値に基づく事業（経済的価値創出事業、社会的価値創出事業、文化的価値創出事業）とSDGs事業を融合することで、組合事業における新たな価値の創出・獲得につながっている。併せて各組合員の事業においてもSDGsの観点から位置付けることで企業価値の向上につながっている。また、SDGsに組合で取り組むことで組合員に対する意識啓発が促進され、高い波及効果が得られている。



企業の玄関などに飾ることで、SDGsを身近に感じられるよう「問屋町SDGs宣言」企業へ贈呈される盾



SDGsバッジの販売先が周辺に少ないため、気軽に購入できるよう組合が運営する「問屋町交流ストア」で販売



認知度を高めるため、SDGsのPR看板を共同倉庫壁面に設置

SDGsへの取組みを通じた組合事業活性化・社会貢献

Point!

組合のビジョンや戦略に基づく既存事業とSDGs事業の融合
外部有識者や実践者で構成される推進体制の整備